

細い事はしない様にしているんだ。酒好きの僕だから、飲酒日は楽しみでね、ほろ酔い気分テレビの時代劇を観るのは最高にご機嫌だね。これからも皆さん、よろしくね。

(担当寮母 一色 和子)



三グループ
小池 光子さん
昭和19年1月17日生
松山市春日町出身

小池さんは、三人姉弟のまん中で、お姉さんはよく面会に来てくれています。
「干支は」と問えば「えてこ」と、ユニークに答えてくれます。入所当初は口数も少ない方でしたが、リハビリにより入所三ヶ月たった現在は、マイクを持たら離さないほど、カラオケが大好きになりました。今は八代亜紀の「雨の慕情」をよく歌っています。顔もふっくらとし、お話もよくしてくれるようになりました。そして皆さんからも「ミーコ、ミーコ」と可愛いがられています。これからも「ミーコ」をよろしくお願いします。

(担当寮母 近藤 楽恵)



三グループ
佐伯 守さん
昭和20年11月4日生
周桑郡丹原町出身

寮母さん僕の気持ちわかって下さい。僕は、とってもはずかしがり屋なのです。あまり話しかけてくれない寮母さんは、口の聞けない僕にもわかるのです。だから、食事の時もじっと顔を見て、それからでないと口を開けないのです。

それに、僕の笑顔を見て下さい。きっとあなたも笑顔が出るはずです。笑顔のきれいな女性になって下さい。
僕の「ウー、ウー」という声だけで何を言おうとしているのかわかる寮母さんになって下さい。

(担当寮母 花岡 由美)

今年度の抱負

あゆみ会会長に就任して

会長 榎原 仁さん

僕は、元気な頃夢と希望を大きく持って社会人として、仕事に意欲を燃やし家族の愛情にも恵まれていました。でもこんな身体に成って、当ホームに入所する様に成ってから、夢や希望すら持てず生活意欲の無さに半分は自分と言うものをあきらめていました。そんな中ホームの仲間の汗の出る様なりハビリ訓練も他人事の様に思い、ただぼんやりとした日を過す反面、くやしさと情けなさで、イライラが募るばかりでした。そんな僕を一生懸命介護して下さい寮母さんにも八ツ当りし、我まま一パイ言って来ました。

しかし、失いかけていた夢や希望を再び持たせてくれたのは、地域のボランティアの方、職員や入所者の仲間だったので。特にクラブ活動の充実で、僕達の自主運営により、自由にのびのびとした活動が実施され、時間の許せる限り夢中でクラブ活動に取り組む姿こそ、昔の自分を思い出した様で、自分だけが、と言う気持ちから、周わりの人の為に、と心が変わった時何か手答えの様なものを感じて居ります。これからは、あゆみ会の皆さんと共に、力を合わせて生きて行くことこそ、僕達の目標でもある、自立と社会参加に通じる道ではないかと思えます。皆さんの応援たのみます。